

釧路湿原川レンジャー News

2023 Vol.2

第1回「釧路湿原川レンジャー学習会」を開催しました！

「第1回釧路湿原川レンジャー学習会」を令和5年6月15日に開催し、14名の川レンジャーが参加しました。今回の学習会は、釧路町岩保木水門付近において、遠矢小学校4・5年生と一緒に「花咲かじいさんプロジェクト」へ4年ぶりに参加しました。参加にあたり、過去の植樹場所の観察、植樹、ポット苗作りを行いました。

今回の植樹ではハンノキやシラカンバ、ミヤマザクラなど計31種、全体で300本の苗が植樹されました。



サークルを前に記念撮影



花咲かじいさんプロジェクト
岩保木水門付近

位置図

過去の植栽木の観察（平成9年度植樹）

今回は平成9年度に植樹された場所の観察を行いました。当時は植樹した樹種が少なく、ハンノキ、ヤナギ類、ホザキシモツケの3種のための植樹でしたが、植樹から26年が経過し、全体的に大きく生長して林となっている様子が観察できました。



植樹された樹木は人の背丈よりずっと大きくなっていました。令和4年度調査における最大値は、ハンノキの8m77cmでした。



植樹から26年がたち、林の中は薄暗くなるほどに樹木が生長していました。

■ 植樹

植樹用のサークル1つにつき、それぞれ種類の異なる10個のポット苗を植樹しました。用いた苗はすべて周辺地域の自生種であり、種類の違う苗を混ぜて植えることにより、その場所の環境に適応した自然林を目指す植樹方法です。川レンジャーは12サークルを担当し、作業の後半では、遠矢小学校の児童と共同で植樹を行いました。



■ ポット苗作り

植樹の後、来年以降の花咲かじいさんプロジェクトに用いるため、ポット苗を作りました。苗床で育てたシウリザクラとホオノキの苗を川レンジャーが手分けしてポットに移植していきました。

皆さんで作業を分担し、流れ作業でスピーディーに移植作業が進められ、短時間で用意された全ての苗をポットに移植し終えるほどチームワークがバッチリでした。



右から三つ目がホオノキ、それ以外のポット苗はシウリザクラです。

■ 観察活動の報告

川レンジャーより、観察活動の報告がありましたので、ご紹介します。観察活動は学習会と並ぶ川レンジャー活動の柱であり、今後も釧路湿原川レンジャーNewsで紹介していきます。皆様からの報告をお待ちしております。

報告日	報告内容	
2023年5月19日	5月18日に国立公園パークボランティアとして、環境省が行う巡視に同行しキラコタン岬からオジロワシを確認しました。	
2023年6月3日	5月25日に釧路大規模運動公園の人工池の北側排水路でアメリカミンク1頭を、6月3日に同じ場所でヒナ3羽を連れたマガモを観察しました。	
2023年6月21日	5月27日に釧路湿原国立公園クリーンデーに参加し、細岡ビジターズラウンジ周辺にて家電ゴミの不法投棄を発見しましたが、まだ回収されていません。	事務局対応 釧路町で7月上旬回収を予定しています。